会議議事録

|  |  |
| --- | --- |
| 事業名 | 令和元年度「職業実践専門課程等を通じた専修学校の質保証・向上の推進」Ⅰ.教職員の資質能力向上の推進　(ⅰ)自立的・持続的な研修体制づくりの推進 |
| 代表校 | 一般社団法人全国専門学校教育研究会 |

|  |  |
| --- | --- |
| 会議名 | 第2回ガイドブック検証委員会 |
| 開催日時 | 令和元年9月11日（水）15:00～17:00 |
| 場所 | AP大阪駅前 |
| 出席者 | 1.委員：大城圭永、上里政光、中川達也、龍澤尚孝、飛田隆、新井公一、泉田優、2.請負業者：飯塚正成 |
| 議題等 | 1.代表挨拶（大城）2.教育マネジメント研修　〇教育マネジメントに関する学内意見聴取内容について各校より説明（中川、龍澤、上里、泉田、新井）　・学生との接し方、距離感等について知りたい。　・学生のモチベーションや集中力強化について知りたい。　・学生間の教育力のバラつきや問題を抱える学生がいる場合のクラス運営。　・カリキュラムの適切性。　・３つのポリシーのそもそもの設計について知りたい。　・カリキュラムポリシーからディプロマポリシーの実現　・教員育成方法全般　・情報公開に関するPDCAの実施　・教育設計全般。　〇企画案について岡村委員の代わりに事務局が説明。　　以下の内容にて合意された。　・日程：令和元年12月16日（木）13：00～17：00　　　　　　　　　12月17日（金）9：00～12：00　・場所：東京（事務局）　・講師：初日　ベネッセ教育総合研究所　佐藤昭宏　　　　　　　「教育マネジメントに求められる効果測定」　　　　　2日目 山口大学　林　透　　　　　　　「大学におけるカリキュラムマネジメント」　　　　　　　「学習成果アセスメントに向けたパラダイムチェンジ」　　＊アイスブレイク、課題共有、全体クロージング等は岡村委員が担当。　・定員：30名　　＊動員として各委員の学校から2名程度の受講をお願いする。　　＊第1次募集として、全専研会員に10月中・下旬に案内送付　・受講料：無料　・スケジュール　　　9月：会場確保、講師依頼、案内作成　　 10月：案内発送　　 11月：受講者受付　　 12月：研修実施　・役割　　　岡村：講師交渉　　　新井：当日受付　　　大城：開会挨拶　＊変更する可能性有　　　泉田：司会進行　　　上里：当日会場設営　　　事務局：会場予約、案内作成、案内送付、受付処理、アンケート原案作成、資料準備、プログラム作成、名簿作成、アンケート集計、報告書作成、会計処理3.情報公開セミナー　【決定事項】　〇共通決定事項　・次回委員会にて案内文書を確定する。　・告知は、職業実践専門課程設置校　・動員は、発送先リストを参考に各エリアの担当が各校に連絡。・閉講の挨拶は行わない。・研修資料の準備は、事務局にて担当する。・アンケートは、昨年度使用したものと同様のものを使用する。　・経理処理は、事務局にて行う。　①山口会場　・日程：11月13日（水）13：00～16：15　・場所：新山口ターミナルホテル　・挨拶：佐竹会長　・専門学校事例紹介：穴吹デザインカレッジ　校長　後藤良二　・高等学校講演：山口県鴻城高校　教員　岡村昭男　・行政講演：山口県総務部学事文書課　　　　　　　　　私学振興班　主任　前田優樹　・後援：山口県専各連　・当日の運営については、YIC職員にて行う。　②京都会場　・日程：11月21日（木）15：00～17：00　・場所：京都私学会館　・挨拶：山崎副会長、京都府専各協会　会長　田中　誠二　・専門学校事例紹介：学校法人大和学園（内諾）　③岩手会場　・日程：12月26日（木）13：30～16：30　・場所：岩手県民情報交流センター　・挨拶：岩手県専各連　会長　龍澤　正美　・後援：岩手県専各連　【検討事項】　①山口会場　・挨拶担当者として、山口県専各連会長・副会長・研修委員長に打診中。　・謝金、旅費の支払額の確定　・山口県教育委員会に後援を依頼。　②京都会場　・後援：京都府専各連と交渉中　・高等学校講演：京都府立南丹高等学校と交渉中　・当日運営について学内にて検討。　③岩手会場　・全専研からの挨拶担当として、川崎副会長に事務局から打診　・専門学校事例紹介は、穴吹学園後藤先生に依頼。　・高等学校講演は、県立高校に依頼予定　・行政講演は、岩手県学事課に依頼予定4.スケジュール（大城）　第3回委員会　10月17日13:00～15:00　＊開催場所は、大阪の利便性が悪いことから福岡を候補地とする。 |

以上